

「いわての復興教育」 児童生徒実践発表会 2月4日 県民会館



2月号

令和2年2月18日発行
岩手県立宮古北高等学校

『みやきた新聞』は、地域の方々に宮古北高等学校をもっと知っていただくために発行を開始した情報発信紙です。勉強や様々な行事に生き生きとがんばっている生徒の姿をご覧ください。



2月4日(火)

岩手県民会館大ホールで令和元年度「いわての復興教育」児童生徒実践発表会が行われました。当日は、本校を含め、県内の小・中学校、高等学校、特別支援学校の7校が選ばれ、「いわての復興教育」の取り組みを発表しました。本校の発表は、4名の2年生（佐藤優衣、田村祐生、千葉もも、星香恋）が発表しました。内容は、防災教育の一環として行っている全校遠足の取り組みについてでした。三陸鉄道を利用した「震災学習列車活用スクール」の内容、「いのちをつなぐ未来館」での体験、「鯨と海の科学館」の復興までの取り組みなどをまとめ、震災の風化を防ぎ、防災意識を高める活動につなげていることを発表しました。これまで何度も繰り返し発表の練習をしてきましたが、緊張の度合いはこれまでとは比べものにならないものでした。けれども4人の生徒は、笑顔を忘れず、大きな声で堂々と発表することができました。他の高校の先生からも高い評価を受けました。これからも地域の担い手として活動していきましょう。

金融経済セミナー

2月13日(木)

卒業前の三年生を対象に金融経済セミナーが行われ、卒業後の生活で役立つ返済や金融トラブルなどについて注意すべきことを学びました。共有することを学びました。



一人暮らしには何が必要？

宮北の森

1月29日(水)

震災以来、沿岸地区の子どもの肥満が小学
生から問題になっていました。本校の生徒も肥
満傾向の生徒がおり、生活の改善が求められ
ています。
今回の宮北の森では、養護教諭の深山先生
から飲み物に含まれる糖分の量と過剰摂取に
よる問題について説明がありました。
本校の自動販売機には、糖分量の多い飲み
物が他校に比べて多く、内容の変更が提案さ
れ、生徒同士で話し合いを行いました。



今回は深山先生から自動販売機の内容についての提案



～交通事故を起こさないために～ 「車社会に出る高校生の君たちへ」 出前講義実施

1月24日(金)



3年生を対象に、自動車運転の
賠償責任や道徳的責任につ
て、一般社団法人岩手県損
保協会より講義をしていただきました。
卒業すると車の運転するこ
とが多くなり、責任と事故のリスクも
高まり、事故対応について、詳しく
説明します。
また、気づいた内容で、新
たに自分の運転技術に過信すること
も、周囲の状況にも配慮すること
が、交通事故を避けるために必要
です。
事故も回避できるようなまな
めには、自分の運転技術に過信すること
が、周囲の状況にも配慮すること
が、交通事故を避けるために必要
です。

地方創生ワークショップ

1月26日(日)



アイストピア宮古において、宮古市主催の地方創生ワークショップが行われ、市内の高校生が、宮古のまちづくりに対して意見交換し、まちづくりに対する意見を発表しました。

宮古市の課題を解決するには？

宮古市の良いところは？